

2021

11月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第207号①【基準日 2021年10月29日】



🌸 社長メッセージ



先行き不透明な時だからこそ



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので11月となり、今年も残すところあと2ヶ月となりました。新型コロナウイルスの第5波が収束し、緊急事態宣言が解除されて、少しずつ緊急事態宣言前の日常生活が戻りつつある中、1ヶ月经ちましたがいかがお過ごしでしょうか？ 長い間、緊急事態宣言下が日常となっていましたので元に戻るにはまだまだ時間がかかるように思います。海外のケースから考えると第6波が来る可能性は少なくありませんが、第5波よりも大きいのか小さいのか実際に来てみないとわかりません。警戒心を持ちながらも、各自が感染対策をした上で、以前の日常生活、社会・経済活動を少しずつ取り戻していきたいですね。

さて、先月のマーケットの動向ですが、世界株式市場は、資源高や半導体などの供給制約によるインフレ懸念や米国長期金利上昇、早期テーパリング観測が継続する中、IMFが2021年の世界経済の成長率見通しを5.9%に下方修正しましたが、前月の調整色から一転して個別企業の決算発表に注目が集まり、欧米の好決算企業を中心に上昇して株価高を牽引し、NYダウ、S&P500、ナスダック揃って史上最高値を更新しました。一方、日本株式市場は、前月の上昇の反動もあり、岸田新政権発足後、外国人投資家を中心に売りが出て下落し、月末に衆議院選挙を控えていたこともあり上値も重く調整した1ヶ月になりました。



そのような中、皆さまのありがとうファンドの先月の騰落率は月間で4.7%の上昇となりました。世界株は5.9%の上昇でしたので、相対的にややアンダーパフォームした1ヶ月となりました。ご参考までに日本株TOPIX配当込みは1.4%の

下落となりました。

今後のマーケットですが、引き続き国・地域ごとの新型コロナウイルスからの経済活動回復による景気や個別企業の業績回復と今後の景気・業績見通しに注目が集まってくるとともに、資源や原材料、半導体など世界的なサプライチェーンの供給制約による需給逼迫によるインフレ懸念、米国長期金利上昇、米国でのテーパリング観測など、各国政府・中央銀行による金融緩和・景気対策・財政出動の持続性と経済活動正常化後を見据えた出口戦略に左右される相場展開になると思われます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

世界の株式市場は上下にボラティリティの高い相場状況が続くと思われまますので、引き続き様々な国・地域への国際分散投資と企業間の業績格差が拡大する中での好業績企業への厳選投資が重要になってくると考えます。

資産運用の目的・目標を再確認する

新型コロナパンデミックがこのまま収束に向かっているかどうかはわかりませんが、世界は経済活動正常化へ向けて動き出しています。経済活動が正常化し景気が回復していけば、金融緩和・財政政策による下支えによる過剰流動性相場もいずれ終わりを迎えることになります。その時には、景気回復によってマーケットはさらに上昇していくかもしれませんが、好業績の企業とそうでない企業の株価パフォーマンス格差はさらに大きく広がるかもしれません。反対にマーケット全体が調整局面に入るかもしれません。今後株価が短期的にどう動くかは誰にもわかりませんが、世界経済の長期的な成長のメガトレンドはコロナ前後で大きく変わるわけではありません。

弊社の運用方針は、あくまでも長期的な人口動態の変化に対応できる企業や、革新的な商品・サービスを提供できる企業など、今後の世界経済をリードするビジネスモデルを有した国内外の企業に厳選投資することにより、長期的な世界経済の成長の果実を享受することを目標としております。



先行き不透明な時ではありますが、こういう時に大切なことは、一旦立ち止まって何のために資産運用をしているのか目的・目標を再確認することです。

資産運用を長期で継続している間には様々な事が起こります。景気循環による市場の上昇局面や下落局面はもちろん、バブル経済や大暴落も発生したりします。また、現在の新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックや大きな自然災害や戦争・テロなども経験することになるかもしれませんが、皆さま一人一人の資産運用の目標が大きく変わるわけではありません。

資産運用で大切なことは、ライフプランに基づいて、目的・目標に向かって価値あるものに国際分散投資して長期で継続していくことです。

投資をする際には、短期的な相場変動に一喜一憂したり、相場を予測してタイミングを見計らって売買を繰り返したりせずに、マーケットが上昇局面でも下落局面でも投資を継続することによる時間分散効果でリスクを低減することが重要になってきます。そして、将来お金が必要になった時には計画的に換金して使っていくことが、これからの人生100年時代の資産運用においてとても大切になってくると考えます。

弊社では、お客様の資産運用を一生サポートさせていただければと考えており、良い時も悪い時も皆さまと資産運用の目標(ゴール)を目指して、一緒に伴走していければと思っております。

引き続きお客様から託されたお金を持続的に利益成長していける質の高い企業を中心に厳選投資し、幅広く世界に長期国際分散投資することで優れた運用成果の提供を目指して参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお申し上げます。



🌸 積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

| 期間 | 平均取得単価 | 損益 |
|----------------|---------|---------|
| 1年 | 25,454円 | +12.3% |
| 3年 | 20,188円 | +41.6% |
| 5年 | 19,163円 | +49.2% |
| 10年 | 14,648円 | +95.1% |
| 初回(2004年10月)から | 12,123円 | +135.8% |

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

| <ご参考>毎月1万円積立した場合 | | |
|------------------|-------|-----------|
| 期間 | 投資額 | 評価額 |
| 1年 | 12万円 | 13万4760円 |
| 3年 | 36万円 | 50万9736円 |
| 5年 | 60万円 | 89万5009円 |
| 10年 | 120万円 | 234万1696円 |
| 初回(2004年10月)から | 205万円 | 483万3799円 |

2021年10月29日現在(基準価額:28,585円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

| | 【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】 | 【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】 | 【引落日】 | 【買付申込日】 | 【約定日】 (ファンドの購入日) |
|---------------|---------------------------|-------------------------------|----------|-----------|---------------------|
| 2021年 11月分 | 10月5日(火) | 10月26日(火) | 11月8日(月) | 11月16日(火) | 11月18日(木) |
| 2021年 12月分 | 11月4日(木) | 11月24日(水) | 12月6日(月) | 12月14日(火) | 12月16日(木) |
| 2022年 1月分 | 12月3日(金) | 12月23日(木) | 1月6日(木) | 1月18日(火) | 1月20日(木) |
| 2022年 2月分 | 1月5日(水) | 1月26日(水) | 2月7日(月) | 2月16日(水) | 2月18日(金) |

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

| | | | |
|-----|--------|-----------|----------------|
| 11月 | 1日(月) | 万聖節 | ルクセンブルクの銀行休業日 |
| | 25日(木) | 感謝祭 | ニューヨーク証券取引所休業日 |
| 12月 | 24日(金) | クリスマス(振替) | ニューヨーク証券取引所休業日 |
| 1月 | 17日(月) | キング牧師誕生日 | ニューヨーク証券取引所休業日 |



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

| | |
|-------|--|
| リスク | 当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはおお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。 |
| 手数料 | 申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。 |
| 信託報酬 | ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。 |
| その他費用 | ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。